

羅針盤



2018年6月22日(金) 第51号

多くの人はチャンスをつかむことができない。チャンスは作業着を着ており、大変そうに見えるからだ。

(トマス・A・エジソン (1847 - 1931))

「学年保護者会」を行いました(6/15)

6月15日(金)の午後、本校第一体育館において「2学年保護者会」を行いました。お忙しいなか、約200名の保護者の皆さまにご出席いただきました。ありがとうございました。進路についての話や、進路と関わる3年次の科目選択の話、修学旅行に関する話などを行いました。全大会終了後には学級懇談を行いました。

出欠連絡票に記入いただいたご意見に、ホームページの更新に関するものがありました。県全体の仕組みの変更もあり滞っておりましたが、新しい内容の発信に努めていきたいと考えております。学年通信も「2学年のページ」に掲載していきますので、ご覧ください。



参加できなかった保護者の皆様へ

◎「就学支援金」の関係書類を配付しました。重要な手続ですので確認をお願いします。7月10日までに提出していただく必要があります。不備があれば再提出になりますので、早めの提出をお願いします。

◎修学旅行関係の書類を配付しました。旅行代金に関することも書かれていますので、ご確認をお願いいたします。

6月	曜日	行 事 等	週末課題	朝学習
23日	土		国・数・英	
24日	日			
25日	月		国・英提出	数学
26日	火		数Ⅱ提出	英語
27日	水			国語
28日	木	校内合唱コンクール	数B提出	
29日	金			数学
30日	土	進研模試	数	
7月1日	日			
2日	月	PTA研修旅行(新潟大学)		数学
3日	火		数Ⅱ提出	英語
4日	水	大学学問体験講座		国語
5日	木		数B提出	総合
6日	金	福島大学説明会		数学
7日	土		国・数・英	
8日	日			
9日	月		国・英提出	数学

☆校内合唱コンクール

いよいよ来週です。各クラスの練習にも力が入ってきました。文化センターの大ホールに、心のこもった歌声が響き渡ることでしょう。結果も気になりますが、目標に向かって1つにまとまることに意義を感じます。

今月25日は「諸会費納入日」です。PTAや後援会、生徒会などの諸会費22,054円が指定された口座から引き落とされます。事前に残金を確認しておいてください。

「かるたの魅力」

2組 西牧 美渚

昨年、かるた部は創部 12 年目で全国制覇を果たした。また、映画『ちはやふる』によって、かるたの認知度は黎明だけでなく全国的にも高くなってきているように思える。だが、福島のかるた人口は、いまだに増えていない。なぜだ。こんなにもかるたを始めるきっかけがあるのに…。そこで、もっと多くの人により一層かるたに興味を持ってもらえるように、かるたの魅力を語りたいと思う。

まずは、性別や年齢が関係ないこと。同じ強さの級であれば、小学生とだって、大学生とだって、戦うことができる。腕力では及ばない男性にも、かるたでは勝つことができる。



2つ目は、心理戦により数学の成績が伸びること。かるたで最も重要なのは、かけひきだ。相手が何の札を狙っているのか、どの札をどこに置いたら相手にとって取りづらいのか、何の札を送れば、どのタイミングで札を移動すれば相手が嫌がるか、たくさんのことを考えなければならない。その考え方が数学的なので、かるたを考えながら取ると数学ができるようになるらしい。

3つ目は、持続的な集中力と瞬間的な記憶力を身に付けることができる。かるたは、1試合に約 1 時間半かかる。15 分で札の配置や手の軌道を暗記し、試合中も暗記を何度も繰り返し入れながら、先ほど述べたことを試合中は考え続ける。また、多い時は 1 日に 6～7 試合も取るので、持続的な集中力と瞬間的な暗記力が身についてくる。そして、これらは勉強する際にも生かせる。

多くの人が苦労しているであろうユメタンを覚えるのは朝メシ前だ。

もっともっと、かるたにはたくさんの魅力がある。だからブームになりつつある今、私はみんなに言いたい。「かるたしよう！」かるたの楽しさは実際にやってみなければ分からない。まだ 6 月。さあ、みんな。今すぐ入部届を持ってかるた部に来るのだ！！



「軽音楽部」

2組 鈴木 友理

私は軽音楽部に所属している。6 月にあるライブ(すでに終了しました)に向け、練習づけの毎日だ。といっても、各バンドに与えられた練習時間は週 1 回 40 分だけ。それまで家で各自個人練習をしたり、自分たちで楽器屋さんなどの練習できる場所を見つけて予約をして練習したりと、本気になって時間を大切に活動している。周りの人から見た軽音楽部というのは、どういうものかはわからない。だが、軽音楽部は素敵な部活であるということを知っていてほしい。軽音楽部も、コーラス部や吹奏楽部と何も変わらない、れっきとした音楽をする部活動だ。ただ音楽の種類が違うだけだ。心が空っぽになって何もしたくないとき、何となく元気が出ないときが誰にだってあると思う。そんなとき、きっとほとんどの人が音楽を聴くだろう。そこで、たくさん出会ってきたらと思う、自分に合う曲に。大好きなバンドに。私たち軽音楽部は、みんなの一番身近にある音楽を人に届けることができる。楽曲の中にある“楽しい”“苦しい”などの想いを、ライブで一緒に盛り上がることで共有し、明日への一步を共に踏み出そうとすることができるのだ。大好きな音楽を、自分らの手で、大好きな仲間とできるという喜びを、高校生のうちに知ることができて良かったと心から思っている。もっとたくさんの人と感動を分かち合いたい。素敵な軽音楽の世界に、ぜひ！

